

取組と目標に対する自己評価シート	
タイトル:介護保険事業の適正・円滑な運営とサービスの質の向上	
目標を設定するに至った現状と課題 長期的に安定した介護保険財政の運営につなげるため、介護保険事業の適正・円滑な運営とサービスの質の向上に向けて、介護給付費の適正化が重要となる。 当町では、年々人口減少が進んでいるが、高齢者率は増加している。そんな中、認定率と一人当たりの介護費用額は減少傾向にあるので、これを継続し、安定した介護保険財政を運営していくことと、高齢者率が増加する中、不要な介護サービスが提供されていないかの検証が課題である。	
第7期における具体的な取組【P】 ★給付適正化の推進 ①地域ケア会議の開催 ②ケアプラン点検 ③住宅改修点検	
目標(事業内容、指標等)【D】 ①地域ケア会議の実施 年間12回 ②ケアプラン点検 居宅事業所2カ所(すべての介護支援専門員) ③住宅改修の全点検	
目標の評価方法 ●時点 <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ●評価方法 目標の年間実施件数	
前期(中間見直し)【C】	
実施内容	
自己評価結果【 】○、△、×	
自己評価から考察した課題と対応策【A】	
後期(実績評価)【C】	
実施内容 地域ケア会議 28件、ケアプラン点検 4件(居宅ケアマネ全員実施)、住宅改修点検 14件(全件実施)	
自己評価結果【○】 ○、△、× 目標件数を達成できた。	
自己評価から考察した課題と対応策【A】 ・ケア会議を通して、居宅ケアマネと関係機関の顔の見える体制を構築できた。 ⇒今後も継続して実施する。 ・住宅改修は、全件において専門職の意見を聞くことができ、給付の適正化につながった。 ⇒今後も継続して実施する。	